

子供宝也

No.22 尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

平成 26 年 7 月 16 日

ウチの子、ほんまに大丈夫かなあ？

先日、4・5・6年生を対象にサイバー犯罪について勉強したことをお伝えしました。その後、同じ学年の約400名の子どもたちにアンケート調査を行いました。結果の一部をお知らせします。(重複回答、無回答を含む)

	はい	いいえ
1. 携帯電話等 (スマホ・タブレット・子ども携帯を含む) 持っていますか？	261人	161人
2. あなたが利用しているのはどれですか (1で「はい」と答えた人のみ)	電話：180人 メール：133人 インターネット：56人 フェイスブック：3人 ライン：42人 ツイッター：7人	
3. 電話やメールで友だちとトラブルになったことがありますか？	6人	237人
4. 1日にどれぐらいの時間、電話やメールをしますか？	1時間位：179人 2時間位：14人 3時間位：2人 それ以上：8人	
5. 全然知らない人と電話やメールをしたことがありますか？	7人	239人
6. あやしいメールなどがきたことがありますか？	18人	219人

いかがでしょうか？お子さまは依存症のような状況になっていないでしょうか？犯罪に遭う可能性はどうでしょうか？9月2日の保護者向け「サイバー犯罪に関する研修会」にたくさんの保護者の皆様が参加されますようお願いいたします。連絡帳でかまいませんので、担任までご連絡ください。

悪戦苦闘：6年2組

国語の時間でした。「生き物はつながりの中に」という説明文でした。大学の先生にお伺いしても、結構難しい教材なのだそうですが、子どもたちは、一生懸命に取り組んでいました。

「この説明文の要旨を170字から180字の間でまとめなさい。」という課題でした。昨年度実施された全国学力調査B問題(学んだことを活用する力を問う問題)にも字数制限が加わった問題があり、私自身もチャレンジしましたが、かなり苦勞しました。何人かの先生も同じような感想でした。

それにしても、みんな真剣そのものでした。悪戦苦闘といった感じでしたが、「ハードルが高いぶん、挑戦しがいがある。」ということも感じさせてくれました。集中力を高めて、教室中に物事を追求しようという雰囲気が満ちあふれていました。勉強が嫌いな子どもたちは、決して単に「難しいから勉強が嫌い。」ということではないのかもしれないですね。